



お茶の水女子大学
Ochanomizu University



ようこそ
お茶の水女子大学へ

学長 郷 通子

2007.07.15-16

お茶の水女子大学の歴史

—今年が創立132周年—

明治8年

1875年11月 東京女子師範学校開校式、皇后行啓。

12月 御歌「みがかずば」を皇后より下賜
(明治11年 校歌となる)。

明治41年

1908年4月 東京女子高等師範学校と改称。

昭和24年

1949年5月 お茶の水女子大学となる (国立新制大学)

平成16年

2004年4月 国立大学法人お茶の水女子大学となる

お茶の水女子大学

校歌

明治十一年制定

みがかずば

玉もかがみも

なにかせん

学びの道も

かくこそ有けれ

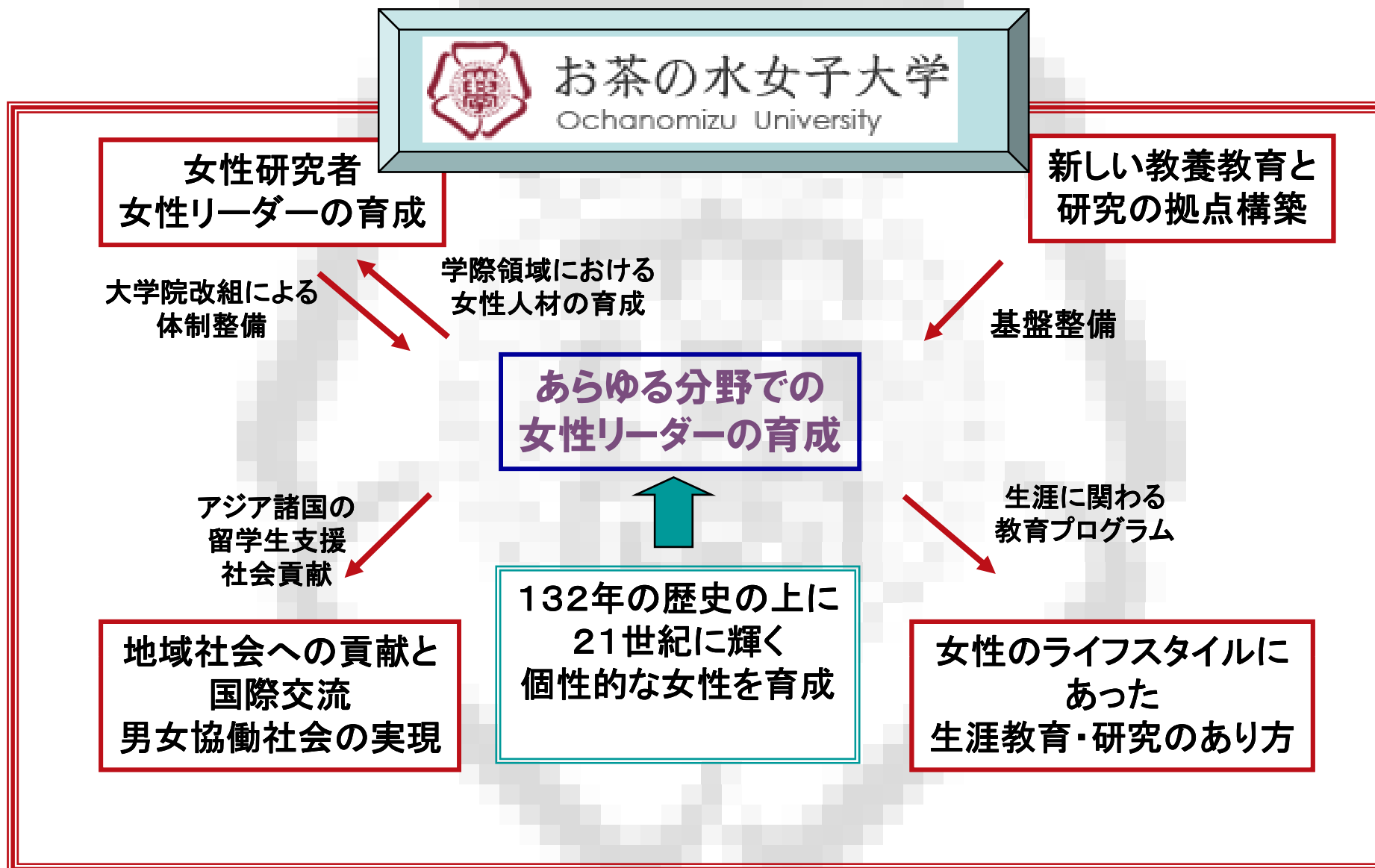
(昭憲皇太后御歌)

本学の教育目標

女性の能力開発とリーダーの育成

- ・ 「文理融合21世紀型リベラルアーツ」科目群の新設
- ・ 女性に適した研究分野の開発
- ・ リーダー育成プログラムの実施
- ・ 女性研究者に適合した雇用環境プログラム
- ・ 若手研究者自立支援プログラム

本学の教育・研究・社会貢献



平成20年度から 「お茶大型リベラルアーツ」教育の本格開始

- ・ 「文理融合21世紀型リベラルアーツ」科目群の新設
- ・ 多様化しグローバル化する社会に求められる力
 1. たしかな専門的知識
 2. それを人に伝えるコミュニケーション力や応用する実践力
- ・ 女性の活躍が期待されている
 1. 仕事、家庭、地域社会などのさまざまな場で
 2. その社会的影響力は大きい



お茶の水女子大学がめざすもの —伝統から未来へ—

- 「21世紀型文理融合リベラルアーツ」による
リーダー養成
- 小規模大学だからできる**少人数教育**
- 優れた教員による**最先端の研究と専門教育**
- 女性の最高教育機関としての**伝統と活躍する
卒業生の力**
- **男性にも通用する**リーダー養成のための**教養教育**
- 少子高齢化社会での子育ての**男女共同参画モデル**
を組織として構築
- **女性も男性も輝く未来へ**向けて
(ナショナルセンターとしての役割へ)



女子大学はなぜよい？

- **在校生の言葉**
「のびのびと学べる」など
- **ロールモデルが豊富**
女性教員や先輩が活躍しているので見習える
- **お茶大の女性教員の割合の変化**
共学大学には存在しない過去50年のデータのもつ意味

女子大で学ぶメリットは？

- (1) なぜ女子だけがよい？
 - 「アットホームな雰囲気」
 - 「友人に恵まれる」
 - 「**落ち着いた雰囲気**で学べる」
 - (2) 少人数教育
 - ・基礎をしっかりと学べる
 - 「多くの教員や先輩に見守られて**安心して新しいことに挑戦できる**」
 - (3) 科学を楽しむ女性の手本が豊富
 - ・自分の将来像を描きやすい
 - ・子育ての知恵や支援を得られる
- (注 本学の女性教員の比率は40%、「」は学生の言葉)

A0入試をスタート —平成20年度入学から— めざす人物像

- ・ **国際的な場で活動する女性を育成**：語学教育、国際学、多文化交流などのプログラムを強化し、海外の交流協定校への留学を推奨
- ・ これらの基礎となる**情報処理**：新入生全員にノートパソコンを貸与し、自分でパソコンを設定し使いこなせるようにしている
- ・ 「**女性リーダー育成プログラム**」：**研究や行政や産業界など各方面で活躍する女性リーダー**を講師に招き女性の将来像を提示するとともに、実践的な指導も実施
- ・ 「**学際性**」と「**国際性**」をもった将来の女性リーダー：通常の学力試験には表れない**総合的な力（ポテンシャル）**が重要
- ・ このような資質をもった学生を、**広く各地から選抜**するため、A0入試を開始

A0入試をスタートします

求める人物像

本学での**勉学に強い意欲**と**専門性を磨いていくために必要**となる**十分な基礎的学力**をもっている。

これに加えて、**以下の項目のいずれかひとつ以上**に当てはまる方を求めています。

1. **知識や意見を人に伝え、実践するためのコミュニケーション能力や応用力を備えている。**
2. **真理の探究に対する憧憬と文・理双方への興味・関心をもっている。**
3. **自分の将来と社会の未来へのビジョンを明確にもっている。**
4. **グローバルな視野をもって思考し、国際的な場での活動を希望している(活動の場は国内国外を問わない)。**

A0入試をスタートします 平成20年度入学

- ・ **選考**

第1次選考 書類選考

第2次選考 平成19年10月26, 27日

- ・ **詳細**

資格や試験内容は「平成20年度入学者選抜要項」と8月下旬発行予定の「平成20年度A0入試学生募集要項」参照

図書館の充実を進めています

学生の視点に立った様々な改革を実施して利便性と学習効果の高い大学図書館へ生まれ変わろうとしています。

「21世紀型文理融合リベラルアーツ」 の一環：新しい取り組み

- リベラルアーツ図書コーナーの新設
- IT環境を整備した 「ラーニング・commons」の誕生
- 学生用パソコン約50台を配置
- 図書館1階の南側スペース
- 無線LAN環境完備
- 全学統一認証システムによりセキュリティも安心



新入生全員にノートパソコンを貸与

貸与の目的

- ・ 情報ツールを自ら構築し、使いこなし、各自の専門領域に取り入れる手法を初歩から学ぶ
- ・ まず、パソコンを個人のものとして使用するとはどういうことか、どのような責任が生じるか、さらに、どのようにしてソフトを取り込んでどう使用するか、情報をどう管理するかなどの知識と技術を習得する
- ・ 全学統一認証システムによりセキュリティも安心

「情報ツールは女性の強い味方です。仕事や生活に、とても役立ちます。」（学長自らの体験に基づく言葉）

教員の女性比率

国立大学法人お茶の水女子大学 平成19年4月

女性比率

役員（学長、理事） 40%

教授・准教授・講師 40%

（全国平均16%、平成17年）

全教員（助教を含む） 42%

昔から理系分野で女性が大活躍

その背景

東京女子師範学校（東京女子高等師範学校）の存在

例えば

- ・ 荻野吟子（**医学**：日本の女医第1号、1851年生れ、女子師範学校第1期生）
- ・ 保井コノ（**植物学**：日本初の女性理学博士）
- ・ 黒田チカ（**化学**：日本の女性理学博士第2号）

- ・ 湯浅年子（**物理学**：国際的に活躍した最初の日本女性科学者、1909年生れ）



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

理系は女性に向いています
—個人的経験から—

「科学」は女性にやさしい

(1) 優しい

女性が歓迎される分野
国の政策がバックアップ
選択肢の幅が大きい
(発展性、基礎から応用まで)

(2) 易しい

積み上げが効く (地道な努力が実る)
学問体系が整っている
世界に共通
(普遍性、性差や言葉の壁がない)

育児支援

- ・ 保育所「いずみナーサリー」の学内設置
- ・ 授乳室の設置
- ・ 学生への育児支援奨学金制度

保育料の半額補助

お茶大の教育方針は？

- **自主・自律の精神の涵養と実践**
(人間力)
- **自信につながるに足りる専門性を身につける**
(専門力)
- **生涯を見据えたキャリア設計ができる**
(生涯力、キャリア力)
- **社会の様々な場で、リーダーとなるための
基盤知識の習得と人間性の形成**
(リーダー力)



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

来年4月の入学式、

この徽音堂でお会いしましょう。

待っています。

学長